

三三六七番

百つ島ももしま 足柄小舟あしがらをぶね あるき多みおほ 目こそ離るらめめか

心は思へどこころも

三三六八番

足柄あしがりの 刀比とひの河内かふちに 出づる湯ゆの よにもたよ

らに 児ころが言いはななくに